

総務文教常任委員会 所管事務調査資料

(令和6年8月7日)

(事務調査)

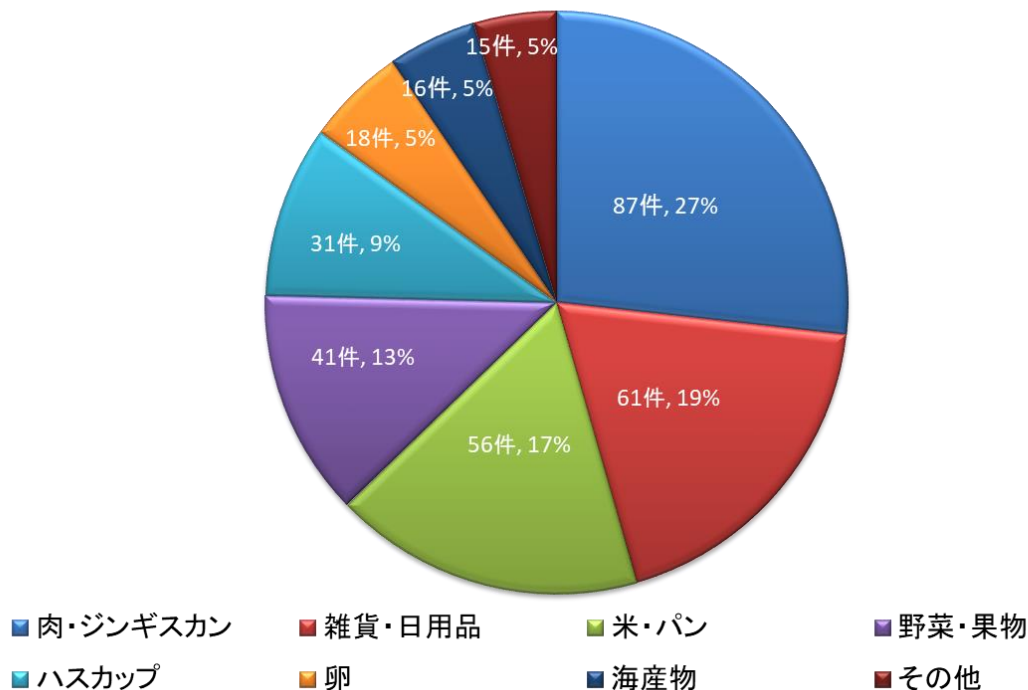
- ③ふるさと納税(返礼品の特徴、寄付金の使い道の順位、費用内訳等)について

総務課財政グループ

1 返礼品の特徴

本町の返礼品の総数は今後提供予定の返礼品を含めると 325 件である。肉や米など食料品が約 76%を占めている一方で、食料品以外では木工製品や革製品等の雑貨・日用品やその他体験型の返礼品等（こぶしの湯やサーフィン体験等）が約 24%を占めている。

返礼品のカテゴリー別件数および割合(全325件)



ふるさと納税サイト大手が公表している 2023 年の返礼品人気ランキングでは、上位は「海産物」「肉・肉加工品」「米」の 3 分野に集中している。本町でも米は人気の返礼品であるが、競合自治体が多いことから寄付額はあまり伸びていない状況である。

昨年度は卵、米の定期便、無添加のソーセージセットが人気の返礼品であった。また、返礼品としてジェラートや宿泊券(古民家)を新たに追加し、継続的に新規返礼品の開拓を行っている。

提供数が多い返礼品（令和 5 年度）

- (1) 小林農園の平飼い自然卵
- (2) さくら米
- (3) 放牧豚ソーセージセット

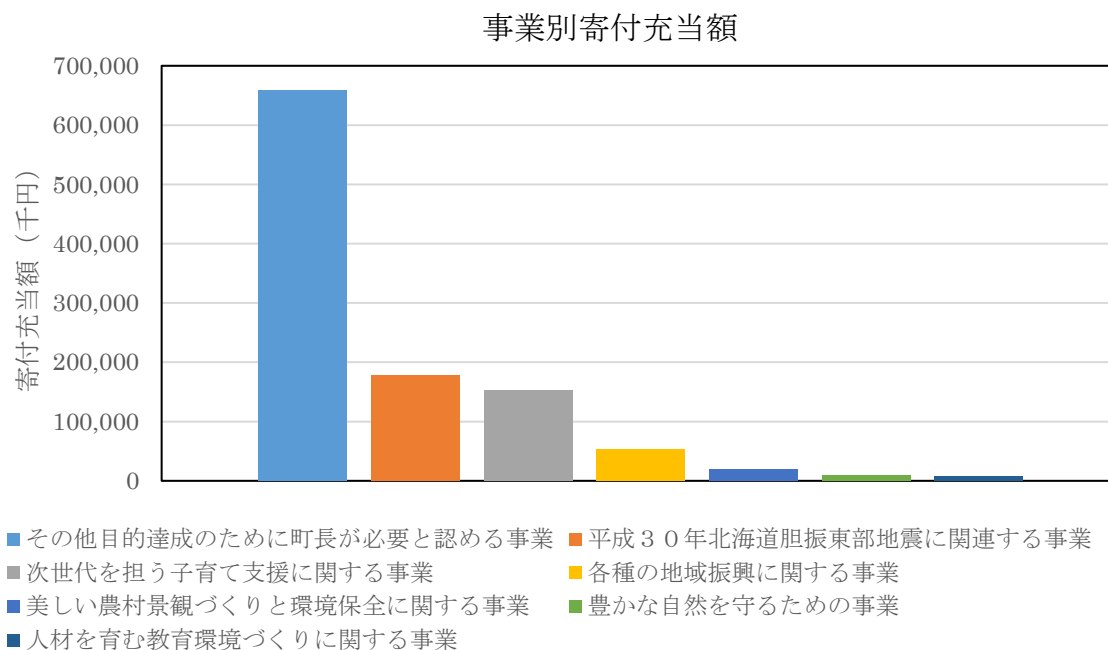
2 寄付金の使い道の順位

過去 10 年間（平成 26 年度から令和 5 年度まで）の寄付金の使い道は、その他目的達成のために町長が必要と認める事業が最も多く、次いで、次世代を担う子育て支援に関する事業、平成 30 年北海道胆振東部地震に関連する事業の順になっている。（下記グラフ参照）

これまでに主に定住化促進対策事業やこども園つみき運営事業や災害公営住宅建設事業等にあふると納税の寄付金を充当している。

平成 26 年度から令和 5 年度の 10 年間の寄付積立額 1,966,336 千円

平成 26 年度から令和 5 年度の 10 年間の寄付充当額 1,077,267 千円



厚真町ふるさと応援基金条例より

3 各年度の経費の内訳

(単位：円)

支出科目	R1	R2	R3	R4	R5
報償費	179,329,773	168,857,496	133,961,840	132,513,466	126,482,620
需用費	45,000	107,899	40,444	187,553	37,179
役務費	66,681,282	69,645,780	61,576,930	72,474,801	69,650,663
委託料	56,308,996	46,985,321	44,384,472	23,059,884	20,036,098
使用料	46,003,017	47,857,797	43,192,109	38,777,671	41,157,379
備品購入費	108,000	－	－	－	－
積立金	282,527,932	182,744,193	186,345,101	166,395,273	147,161,734
合計	631,004,000	516,198,486	469,500,896	433,408,648	404,525,673

支出科目の詳細

- ※ 報償費： 返礼品代
- 需用費： 消耗品、パンフレット印刷
- 役務費： 配送料、広告料、収納代行手数料
- 委託料： 中央コンピューターサービス株式会社、株式会社エーゼロ
グループ厚真町支社への事務委託料
- 使用料： ポータルサイト使用料